



渡邊 七夏

日本女子大学 人間社会学部  
株式会社 乃村工藝社  
CC 事業本部プロダクト局

「全ては当たり前前に存在しているわけではないということ。」

大学時代、カンボジアの村の小学校建設に参加させて頂いたことがきっかけで、私の人生は一変。それまでめくめくと過ごしながら当たり前前に思っていた自分の育った環境や口にするもの、目にする美しいものの全ては、必ず多くの人の努力と汗によってつくられたものであるということを知りました。今まで目に見えていなかったその環境を目にしたその瞬間、それまでいかに自分が目に見える美しいものだけを見てお腹いっぱい生き、どれだけ自分が無力であるかを感じずにはいられていませんでした。そうした経験を通じて、華やかな世界を夢見がちだった就職活動は一変。将来はそれまで自分が与えてきてもらった環境（空間）を今度は自らが汗をかきながら生み出していきたく思うようになりました。そんな中で出会った乃村工藝社は、まさに華やかな世界でありながら泥臭さいっぱいの人間のドラマと汗なくしては働けない、目に見えない「当たり前の幸せ」をつくりだす会社だと思い、入社を志望致しました。

「まだまだ挑戦できることが沢山。という期待と、不安をやる気にかえるモチベーション。」

「こんなこともしているの？」と、働いている自分が驚いてしまうほどの事業展開をしている乃村工藝社。その実績をつくったのは、当たり前を覆した熱い思いを持った先輩方とその環境を与えてくれた会社があったからだと思います。そんな乃村工藝社だからこそ 2020年の東京オリンピックに向けては勿論のこと、今後挑戦できることはまだまだ沢山あるのではないかと。その一つとして、現在既に活動を拡大している海外進出に大きな期待とその挑戦に自分も進んで参戦していきたいと思っています。「語学力に自信がない…」「まだ日本の業務のことですらわかっていないのに…」など、不安を挙げればたくさんです。しかしそうした不安こそ自分の成長の糧にして、新しいものをつくり出す挑戦をしていきたいです。

「ないものをつくり出す。」

乃村工藝社だからできること。それはおそらく「乃村工藝社はこんなこともしているの？」というものの一つを自分次第でつくり出せるということ。将来は自分もその一つをつくり出し、世界に発信していきたいです。また、そのつくり出したものが世界の人たちにとって日本の価値観を変えるきっかけとなり、同時にその環境（空間）を通じて日本とその国との親交を深めるきっかけになればいいなど。そしてその日をつくるのは、何をしても失敗続きの今の自分を支え続けて下さる先輩方や協力会社の皆さん、そして私の人生を変えてくれるきっかけとなった、素敵な国であることを願っています。



# next HERO

## 明日の君へ…

新入社員が入社動機から仕事に対する想い、期待、不安、将来のビジョンを語る



「とにかくモノづくりに携わる環境で働きたい。」

モノを造ることが好きな私は、とにかくモノづくりに携わる環境で働きたいと考えておりました。入社後の現在は、クライアントのニーズに合ったものをつくるということに、とてもやりがいを感じております。また、製作物がクライアントの手に渡った時や、満足頂けたときが何より嬉しく感じる瞬間です。



「様々な方と接し、多くを学びスキルアップ。」

今はまだ、クライアントが自分よりも知識や経験がある方ばかりで、制作していく過程で自分とクライアントとの意思疎通ができていないか不安になり、確認作業が減りません。しかし、仕事をしていく中で上司や先輩、協力会社の方からクライアントまでと、様々なタイプの方と接する機会が多く、考え方やモノの作られる工程など色々学べる環境にあります。その中で自分が確実にスキルアップできるよう、日々学んでいきたいです。



「経験と幅広い知識を身に付け、クライアントのニーズをカタチに。」

一つの考え方だけでなく、様々な方向から解決案を見出させるようにしていきたいと考えています。その為には色々な経験を積み、幅広い知識を身に付け、クライアントのニーズに応じていくとともに、信頼関係も築ける自分でありたいと考えています。将来の目標は、クライアントの「こんなものをつくりたい」をカタチにすることや「解りにくいサービス」を解りやすいカタチに具現化することが出来るようになる事です。



青野 聡太

千葉工業大学 工学部 デザイン科学科  
株式会社 ワールドカラー  
SP（セールス・プロモーション）事業部